

令和7年度 名古屋市立工芸高等学校 学校評価について

各分掌重点目標・達成状況・課題など

総務部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
ICT機器更新にともなう円滑な学校運営につながるよう、安定した運用体制のシステムを構築していく。	校務用タブレットの更新に向けて、スムーズにデータ移行できるように計画を立てる。また移行後のトラブル等のサポート体制を整える。	A	新しい校務用タブレットとアカウントに移行したことに伴い、様々なトラブルが発生したがICT係を中心にサポートすることができた。また、ICT支援員と協力し校務用タブレットだけでなく生徒用タブレットのトラブルにも対応することができた。	引き続きICT係を中心に新システムのサポート体制を整え、さまざまなトラブル等に対応していく。さらにICT支援員と情報共有を図り、支援体制を整えていく。
DX化を進め教職員の負担軽減を図るとともに、紙資源やエネルギーの節約など環境負荷軽減に取り組む。	保護者や生徒への連絡やアンケート集約などさまざまな場面でMicrosoft TeamsやForms、きずなネットを活用し、業務の効率化を図り、パーパレス化に努める。	A	様々な場面でTeamsやFormsを活用し、生徒連絡や教員間の連絡など業務の効率化が進んだ。また、PTAをはじめとする保護者への連絡等にきずなネットを活用することができた。その結果、紙の節約や印刷業務の軽減などに貢献することができた。	きずなネットについて全保護者に登録してもらえよう呼びかけをしていく。 生徒用タブレットについて教職員の負担が減るようICT支援員を活用し、生徒へのサポート体制を整える。また、BYODについて研究を進める。

教務部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
学習指導要領に基づく適切な学力診断および評価方法の運用・協議・研究を進める。	学習指導要領の完成年度を経て、観点別評価と生徒の学習状況が相互に関連するよう、学力診断および評価方法の運用・協議・研究を進めることを目指す。	B	観点別評価の運用により、生徒の学習状況をより具体的に把握するための看取りを行う体制が整いつつある。	教科・学科内で観点別評価の運用や評価基準を継続的に見直し・協議し、生徒の学習状況のさらなる改善につなげるための研究を推し進めたい。
「すすめるプロジェクト」を通じて、生徒の主体的な学びを一層進める。	「すすめるプロジェクト」を通じ、授業づくりの協議・実践・振り返りを学校全体で進め、生徒の主体的な学びをさらに促すことを目指す。	A	講師を招いた講演や校内外の視察で得た知見を校内で共有し、授業改善に向けた取組を進める体制が徐々に整ってきた。	引き続き「すすめるプロジェクト」を通じた授業改善を継続し、次年度の公開授業に向けて校内での協議と実践を着実に進めたい。

生徒指導部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
<p>基本的な生活習慣を確立させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻時の声かけによる様子の確認。 ・担任、学年会と情報共有をした上で、面談やゆとり登校を実施。 ・関係各所との情報共有。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒面談や担任との情報交換をすることで、生徒の現状を把握できる場合もあり、基本的な生活習慣の定着に向けたかかわりを持つ生徒もいた。 ・遅刻面談の担当教員を指導部員以外でも行ったことで、多方面からの指導を行うことができた。 ・保健室より保健室利用の生徒情報を共有していただけたことで、生徒の状況を知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から遅刻面談のシステムを変更したことで、多方面からの指導を行うことができ、遅刻数が減少してきた。一方で遅刻に対して改善の意思が低い生徒もおり、また遅刻理由の内容が多様化してきていることから、継続して適切な支援を検討していく。 ・保健室利用の状況と生徒の遅刻などの状況を分析していく。
<p>生徒が安全・安心に過ごすことができるよう課題予防的な取り組みを考え、実施していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当中心に、担任や学年会と定期的に情報の共有を行う。 ・学校全体での情報共有をいじめ等対策委員会で行う。 ・講話等を実施。 ・自転車点検の実施。 ・ヘルメット着用の啓発ポスターの作成。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会の情報を生徒指導部内でも共有することができた。また、いじめ等対策委員会でも共有を行ったことで、学校全体での情報共有を行う体制を継続することができた。 ・身だしなみ講話、サイバー犯罪防止講話を行った。 ・自転車点検を実施し、日ごろからの安全意識を高めさせることができた。 ・生徒へ依頼し、ヘルメット着用の啓発ポスターを作成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で情報の共有を行える体制を継続していく。 ・講話の内容を検討していく。 ・ヘルメット着用の啓発方法を検討していく。

生徒会部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
生徒会活動における教育上の目的を設定し、持続的に教育的効果が生まれる構造にする。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の教育的効果について研修を行い部内での意識をそろえる。 各担当において活動を「教育的かどうか」という観点で見直す。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 各担当で生徒の発達段階にあった生徒会活動のリサイズが行われた。その結果、生徒が主体的に案を出し、責任を持つようになった。 	業務過剰になっているところや、効果が見込まれないところの判断。選択と集中が必要。
生徒会活動にPDCAサイクルを定着させ、生徒の主体性が伸びるしくみを整える。	行事が終わった後の反省と引継ぎを生徒が中心となって行う構造を各担当に設置する。	B	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会で生徒主体となる反省が行われ、次年度への引継ぎ事項をまとめた。昨年度よりPDCAを回す意識が各委員会に浸透した。 	生徒が自身の情報機器を活用し資料作成、提案ができるようにしていきたい。また、委員会内でチームズの活用をさせていきたい。

進路指導部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
本校におけるキャリア教育の確立と、その効果的な手立てを研究し実践する。	3年間を通した進路指導計画方針を作成し、流れや目的を確認しながら、各行事の見直しを図る。	B	本校のキャリア教育を運用していく中で、今の生徒に必要な教育を研究、実践することができた。	生徒が自主的に自らの進路を選択する行動をとることができるようなキャリア教育の手段を考えていく。
生徒が自らの能力・適性や個々の成果に合った進路選択ができるようにサポートする。	生徒が自身の適性や希望などを見つめ直す機会を提供し、個々の進路選択に合わせたサポートをする。	A	生徒が探究活動や適性検査の結果などを踏まえ、自らの進路を選択できるよう、担任や学科の協力を得てサポートすることができた。外部ツールの活用が定着してきた。	引き続き、生徒の進路選択の視野を広げられるよう努める。必要に応じて企業や大学などの外部と連携し、サポートを充実させていく。

保健部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
委員会の生徒が中心となって、美化や保健に関する意識を全校生徒で高め、健康的な学校生活を送れるよう指導・助言する。	心身の健康や環境美化を考える取り組みを生徒と共に企画し、委員会活動を通して、生徒自ら保健や美化に関する活動を行う意識づけを行う。	A	保健委員会は、保健だよりの発行、健康に関するポスターの制作・掲示、「いのちの講話」の感想文のまとめなどを生徒主体で行い、全校生徒が情報や考えを共有できるようにした。	委員会の生徒が中心となって、美化や保健に関する意識を全校生徒で高め、健康的な学校生活を送れるよう指導・助言する。
日々の学校生活の様子、こころのSOSなどを通じて悩みを抱える生徒の早期発見に努め、教職員やSCが連携してサポート体制を整える。	養護教諭と教育相談係を中心に、教員同士が密に連携を取り、見守りが必要な生徒の早期発見に努める。こころのSOSや日常生活でサポートが必要な生徒の様子をSCと共有する。	A	養護教諭、教育相談係を中心に情報収集を行うとともに、関係各所と情報を共有した。生徒を注意深く見守り、必要に応じてSCにつないだ。	今後も継続して、日頃の生活や様々な活動から生徒の変化に気づき、見守りが必要な生徒の早期発見に努める。教員同士やSCとの連携により、迅速な対応ができるようにする。

図書部

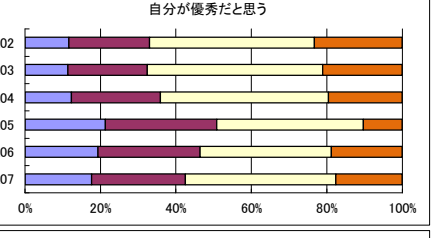
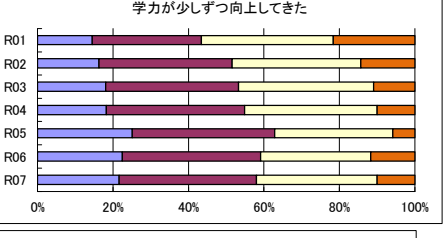
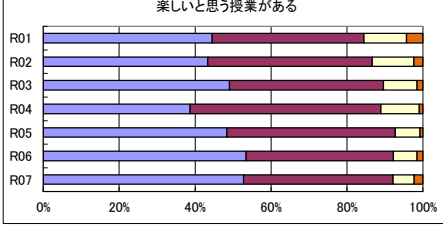
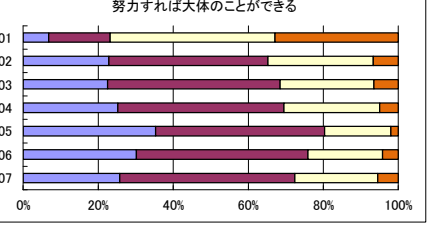
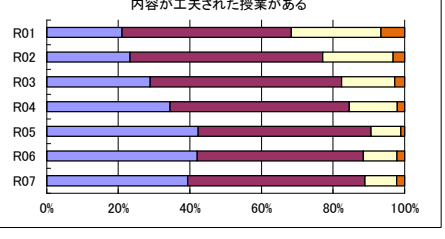
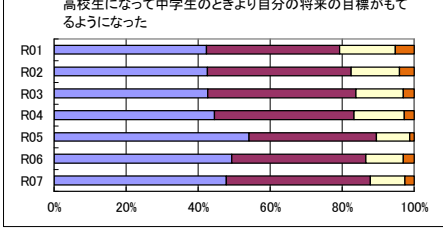
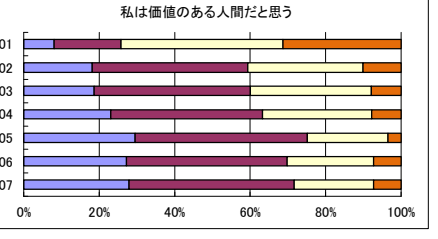
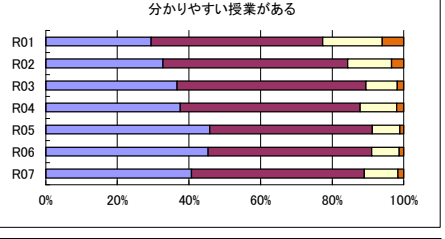
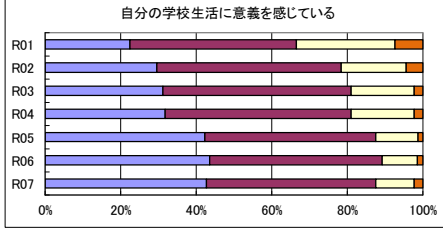
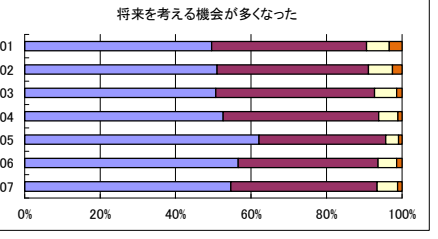
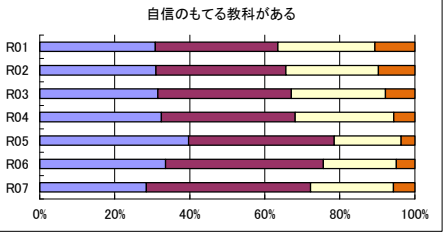
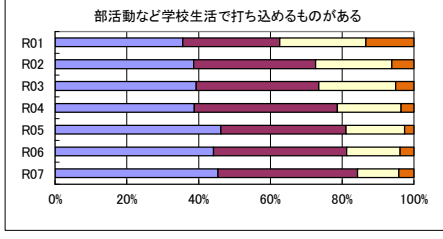
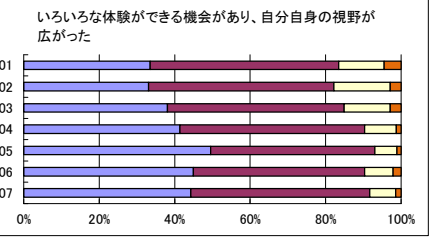
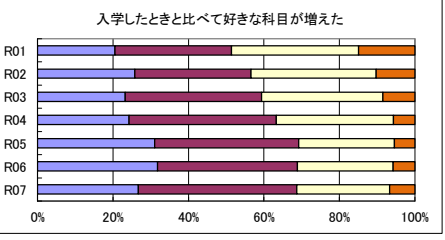
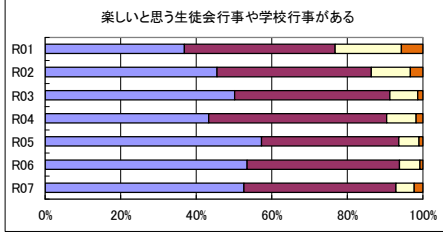
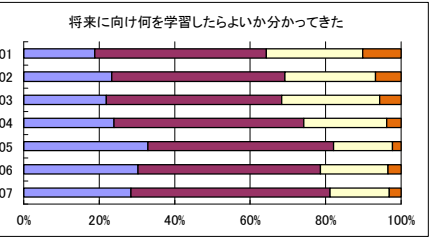
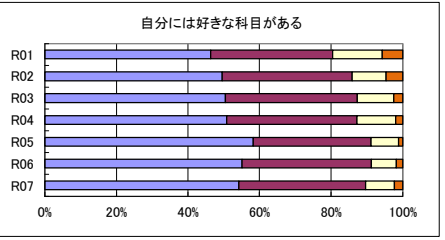
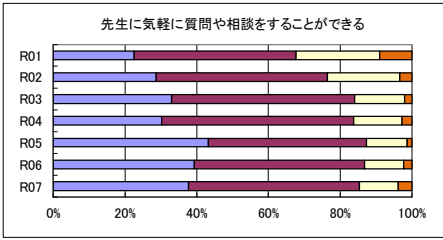
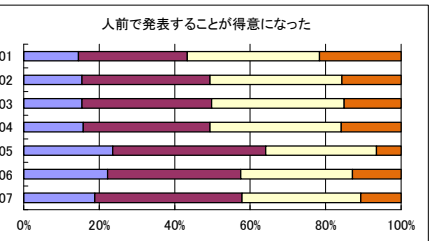
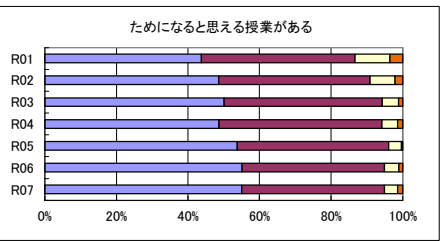
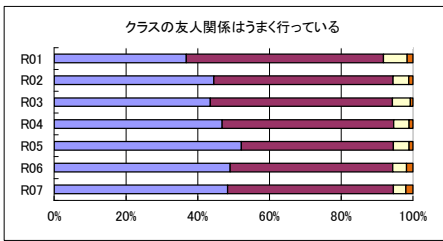
重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
図書館の設備充実	生涯を通じて読書に親しむ習慣を身に付けられるよう、図書の選定を行う。同時に、図書館の設備を充実させ、図書館利用の促進に努める。	A	選書会などを通して積極的に図書の選定を行うとともに、個展コーナーなどを設け、来館者に興味を持ってもらえる環境を整えることができた。	昨年度に引き続き、本の展示のための器具や、本を守るためのカーテンなど、設備の充実が求められる。
生徒の主体的な委員会活動	生徒の主体的な広報活動に加え、魅力的な図書館行事を増やし、それによって利用者増加を図る。	A	新しい行事を設けることで、より積極的な生徒の活動が見られた。	新しく始めた行事を定着させるとともに、より生徒主体で運営できるような働きかけをしていきたい。

工務部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
特色・魅力のある工業教育の実現	本校独自の工業教育に加え、STEAM教育を取り入れ、従来の工芸高校からさらに発展した魅力的なカリキュラムを研究する。	B	各学科が魅力的なカリキュラム研究を進めているが、実際の授業への反映は限定的であり、十分な成果には至っていない。試行的な取り組みは行ったものの、魅力ある教育の実現にはさらなる具体化と発信方法の工夫が必要である。	その時代に必要とされる授業内容や、魅力あるカリキュラムの体系化を進める必要がある。また、学校の特色を広く発信する仕組みを構築し、地域との連携を強化することが求められる。
デジタル人材やものづくり人材の育成に向けた課外活動の充実	KOGEI DESIGN OFFICEやものづくりを通じた産学官連携や競技大会への挑戦に取り組みながら、DXや次世代のものづくりを担う人材育成をさらに充実させる。	A	最新機器の導入により、実践的な学習環境が整備された。DXハイスクールの取り組みを継続する中で、生成AIを活用した課題解決型学習を始めるきっかけを作ることができた。	生成AIを活用した学習活動をさらに充実させ、地域との共同プロジェクトなどを通じて実践的な体験を提供することが重要である。また、生徒が主体的に取り組む場を設け、デジタルスキルの定着を図る必要がある。

広報企画部

重点目標	具体的方法	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
安定した受検生確保のため、様々なイベントを企画・発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動見学会を実施 ・SNSを活用した広報活動の実施 ・教員向け説明会の実施 ・近隣中学校のキャリアナビゲーターとの連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なツールを使用して様々な取り組みを発信できた。 ・教員向け説明会の実施・近隣中学校のキャリアナビゲーターとの連携や広報活動の実施ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有益な情報を多く発信する。(内容は精査する) ・近隣中学校のキャリアナビゲーターと連携を図り、近隣中学校へのアプローチを図る。
関係部署との連携を図り、安定した受検生の確保のための情報収集・分析を行い、活用方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問の企画・立案・まとめ ・進路説明会、上級学校説明会の対応 ・入学案内、学校パンフレットなどの製作 ・卒業生の活躍冊子の制作 ・進路説明会等の拡充 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの中学校での進路説明会を実施することができた。 ・卒業生の活躍冊子の制作の実施に向けて同窓会と協力できた。 ・進路説明会をクラス単位やHRで活用してもらえるように広報できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の対象を整理し、対象にあった発信方法を検討する。 ・教員向け説明会は次年度以降も随時受け付け対応する。 ・卒業生の活躍冊子については3年をめぐりに刷新をしていく予定である。



凡例

- とも思う
- まあ思う
- あまり思わない
- まったく思わない

